

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公開番号】特開2008-250751(P2008-250751A)

【公開日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2008-041

【出願番号】特願2007-92023(P2007-92023)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/60 1 2 6 K

G 06 F 17/60 1 2 6 N

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月9日(2011.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

薬剤名を含む薬剤情報を記憶する記憶手段と、

入力された語句に基づいて、前記記憶手段に記憶した薬剤情報を検索し、前記語句が含まれる薬剤情報を抽出する抽出手段と、

前記抽出手段によって抽出された薬剤情報に基づいて、薬剤名を一覧表示する表示手段と、

前記表示手段に表示された薬剤名から特定の薬剤名が選択されることにより、前記薬剤情報のうち、少なくとも用法・用量を前記表示手段に表示させる表示制御手段と、

を備えたことを特徴とする電子カルテ装置。

【請求項2】

前記記憶手段は、薬剤情報として薬効を含み、

前記表示手段に表示された薬剤名から特定の薬剤名が選択されることにより、前記記憶手段から同一薬効を含む代替薬についての薬剤情報を抽出する第2の抽出手段を、さらに備え、

前記表示制御手段は、前記第2の抽出手段によって抽出された代替薬の薬剤名を、前記表示手段に表示した薬剤情報と切替可能に表示させることを特徴とする請求項1に記載の電子カルテ装置。

【請求項3】

前記表示手段は、複数のキーからなるキーパッドを表示し、

前記表示制御手段は、前記表示手段に表示された薬剤名から特定の薬剤名が選択されることにより、前記キーパッドの各キーの表示を用量入力モード又は用法入力モードに順次変更することを特徴とする請求項1又は2に記載の電子カルテ装置。

【請求項4】

前記表示手段は、処方する薬剤に関する情報を含む現在カルテ欄を表示し、

前記表示制御手段は、前記現在カルテ欄の用量又は用法を操作されることにより、前記キーパッドの各キーの表示を用量編集モード又は用法編集モードに変更することを特徴とする請求項3に記載の電子カルテ装置。

【請求項5】

薬剤名を含む薬剤情報を記憶する記憶手段と、
前記記憶手段から薬剤情報を抽出する抽出手段と、
前記抽出手段によって抽出された薬剤情報に基づいて、薬剤名を表示する表示手段と、
前記薬剤名が選択されることにより、前記薬剤情報のうち、少なくとも用法・用量を前記表示手段に表示させる表示制御手段と、
を備え、
前記表示手段は、複数のキーからなるキーパッドをさらに表示し、
前記表示制御手段は、前記表示手段に表示された薬剤名から特定の薬剤名が選択されることにより、前記キーパッドの各キーの表示を用量入力モード又は用法入力モードに順次変更することを特徴とする電子カルテ装置。

【請求項 6】

入力された語句に基づいて、薬剤情報を検索し、前記語句が含まれる薬剤情報を抽出する抽出ステップと、
前記抽出ステップで抽出された薬剤情報に基づいて、薬剤名を一覧表示する表示ステップと、
前記表示ステップで表示された薬剤名から特定の薬剤名が選択されることにより、前記薬剤情報のうち、少なくとも用法・用量を表示させる表示制御ステップと、
を含むことを特徴とする電子カルテの表示制御方法。

【請求項 7】

前記表示ステップで表示された薬剤名から特定の薬剤名が選択されることにより、同一薬効を含む代替薬についての薬剤情報を抽出する第2の抽出ステップを、さらに含み、
前記表示制御ステップでは、前記第2の抽出ステップによって抽出された代替薬の薬剤名を、前記表示ステップで表示した薬剤情報と切替可能に表示させることを特徴とする請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

前記表示ステップでは、複数のキーからなるキーパッドを表示し、
前記表示制御ステップでは、前記表示ステップで表示された薬剤名から特定の薬剤名が選択されることにより、前記キーパッドの各キーの表示を用量入力モード又は用法入力モードに順次変更することを特徴とする請求項6又は7に記載の方法。

【請求項 9】

前記表示ステップでは、処方する薬剤に関する情報を含む現在カルテ欄を表示し、
前記表示制御ステップでは、前記現在カルテ欄の用量又は用法を操作されることにより、前記キーパッドの各キーの表示を用量編集モード又は用法編集モードに変更することを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

前記請求項6乃至9のうち、いずれか1項に記載の方法の各ステップを含むことを特徴とするプログラム。

【請求項 11】

前記請求項10に記載のプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータにより読み取可能な記録媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明は、前記課題を解決するための手段として、
薬剤名を含む薬剤情報を記憶する記憶手段と、
前記記憶手段から薬剤情報を抽出する抽出手段と、
前記抽出手段によって抽出された薬剤情報に基づいて、薬剤名を表示する表示手段と、

前記薬剤名が選択されることにより、前記薬剤情報のうち、少なくとも用法・用量を前記表示手段に表示させる表示制御手段と、
を備え、

前記表示手段は、複数のキーからなるキーパッドをさらに表示し、

前記表示制御手段は、前記表示手段に表示された薬剤名から特定の薬剤名が選択されることにより、前記キーパッドの各キーの表示を用量入力モード又は用法入力モードに順次変更するようにしたものである。

また、本発明は、前記課題を解決するための手段として、

電子カルテの表示制御方法を、

入力された語句に基づいて、薬剤情報を検索し、前記語句が含まれる薬剤情報を抽出する抽出ステップと、

前記抽出ステップで抽出された薬剤情報に基づいて、薬剤名を一覧表示する表示ステップと、

前記表示ステップで表示された薬剤名から特定の薬剤名が選択されることにより、前記薬剤情報のうち、少なくとも用法・用量を表示させる表示制御ステップと、

で行うようにしたものである。